

厚生労働科学研究費補助金

長寿科学政策研究事業

介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者の
リハビリテーションの適応等についての研究
(20GA1002)

令和4年度 総括・分担研究報告書

研究代表者 西村 行秀

令和5(2023)年 3月

目 次

I. 総括研究報告	
介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究	1
西村行秀	
(資料) 介護領域で役立つリハビリテーション医学・医療のエッセンスを用いたリハビリテーション手技	
II. 分担研究報告	
1. 介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究	2
西山一成	
(資料) 介護領域で役立つリハビリテーション医学・医療のエッセンスを用いたリハビリテーション手技	
2. 介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究	3
久保俊一	
(資料) 介護領域で役立つリハビリテーション医学・医療のエッセンスを用いたリハビリテーション手技	
3. 介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究	4
村上英恵	
(資料) 介護領域で役立つリハビリテーション医学・医療のエッセンスを用いたリハビリテーション手技	
4. 介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究	5
高橋史郎	
(資料) 介護領域で役立つリハビリテーション医学・医療のエッセンスを用いたリハビリテーション手技	
5. 介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究	6
坪井宏幸	
(資料) 介護領域で役立つリハビリテーション医学・医療のエッセンスを用いたリハビリテーション手技	
6. 介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究	7
中嶋英一	
(資料) 介護領域で役立つリハビリテーション医学・医療のエッセンスを用いたリハビリテーション手技	
7. 介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究	8
酒井孝文	
(資料) 介護領域で役立つリハビリテーション医学・医療のエッセンスを用いたリハビリテーション手技	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	10

厚生労働科学研究費補助金（長寿科学政策研究事業）
総括研究報告書

介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究

研究代表者 西村 行秀 岩手医科大学リハビリテーション医学講座 教授

研究要旨 介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するためには高齢者の診察にあたるリハビリテーション科医、各疾患領域の医師や医師以外の医療職種が適切にリハビリテーションを提供できるようにする必要がある。本研究で介護保険制度のもとで適切なリハビリテーションが提供できるように手引書を作成する。

研究分担者氏名・所属研究機関名及び所属研究機関における職名

(分担研究報告書の場合は、省略)

A. 研究目的

本研究の主目的は介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するための手引書を作成することである。

B. 研究方法

2021年度までに遂行し手引書作成のための大項目3章、中項目合計18項、小項目合計50項を抽出した。これらの項目に沿って手引書の作成をおこなうこととした。手引書作成の執筆、編集、発刊をおこなうこととした。

(倫理面への配慮)

岩手医科大学の倫理審査の承認を得た。

C. 研究結果

第1章は高齢者の身体機能を高める方法についてとし中項目を10項、小項目を36項目とし、第2章を高齢者の意欲を高める方法（心理的サポート）とし中項目を2項、小項目を6項とした。第3章は介護領域の高齢者における疾患別にみたりハビリテーションの留意事項についてとし、中項目を6項とした。また、それぞれの項を理解しやすくするための図表も多く取り入れた。最終的に100ページ弱の手引書を作成した。

D. 考察

昨今のCOVID-19関連による様々な問題等で研究の進行が若干遅れも生じたが、最終年度である本年度に手引書の発刊まで到達し、予定を完遂することができた。

E. 結論

介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するための手引書を作成することができた。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表

Shinohara H, Mikami Y, Kuroda R, Asaeda M, Kawasaki T, Kouda K, Nishimura Y, Ohkawa H, Uenishi H, Shimokawa T, Mikami Y, Tajima F, Kubo T. Rehabilitation in the long-term care insurance domain: a scoping review. Health Econ Rev. 2022 Dec 1;12(1):59.

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

厚生労働科学研究費補助金（長寿科学政策研究事業）
分担研究報告書

介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究

研究分担者 西山 一成 岩手医科大学リハビリテーション医学講座 助教

研究要旨 介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するためには高齢者の診察にあたるリハビリテーション科医、各疾患領域の医師や医師以外の医療職種が適切にリハビリテーションを提供できるようにする必要がある。本研究で介護保険制度のもとで適切なリハビリテーションが提供できるように手引書を作成する。

研究分担者氏名・所属研究機関名及び所属研究機関における職名

(分担研究報告書の場合は、省略)

A. 研究目的

本研究の主目的は介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するための手引書を作成することである。

B. 研究方法

2021年度までに遂行し手引書作成のための大項目3章、中項目合計18項、小項目合計50項を抽出した。これらの項目に沿って手引書の作成をおこなうこととした。この中で中項目8項の執筆を担当することとなった。
(倫理面への配慮)
岩手医科大学の倫理審査の承認を得た。

C. 研究結果

第1章、高齢者の身体機能を高める方法についての、バランス訓練、巧緻性訓練、高次脳機能障害に対するリハビリテーション手技の執筆を担当し、第3章、介護領域の高齢者における疾患別にみたリハビリテーションの留意事項についての、高齢者の全身状態を診るときのポイント、脳血管疾患患者に対する留意事項、運動器疾患患者に対する留意事項、循環器疾患患者に対する留意事項、呼吸器疾患患者に対する留意事項、サルコペニア・フ

レイルのある患者に対する留意事項の執筆を担当した。

D. 考察

昨今のCOVID-19関連による様々な問題等で研究の進行が若干遅れも生じたが、担当部分の執筆を遂行することができた。

E. 結論

介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するための手引書を作成することができた。

F. 健康危険情報

(分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入)

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

厚生労働科学研究費補助金（長寿科学政策研究事業）
分担研究報告書

介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究

研究分担者 久保 俊一 京都府立医科大学医学部 特任教授

研究要旨 介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するためには高齢者の診察にあたるリハビリテーション科医、各疾患領域の医師や医師以外の医療職種が適切にリハビリテーションを提供できるようにする必要がある。本研究で介護保険制度のもとで適切なリハビリテーションが提供できるように手引書を作成する。

研究分担者氏名・所属研究機関名及び所属研究機関における職名

(分担研究報告書の場合は、省略)

A. 研究目的

本研究の主目的は介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するための手引書を作成することである。

B. 研究方法

2021年度までに遂行し手引書作成のための大項目3章、中項目合計18項、小項目合計50項を抽出した。これらの項目に沿って手引書の作成をおこなうこととした。手引書作成の編集をおこなうこととした。

(倫理面への配慮)

京都府立医科大学の倫理審査の承認を得た。

C. 研究結果

第1章は高齢者の身体機能を高める方法についてとし中項目を10項、小項目を36項目とし、第2章を高齢者の意欲を高める方法（心理的サポート）とし中項目を2項、小項目を6項とした。第3章は介護領域の高齢者における疾患別にみたリハビリテーションの留意事項についてとし、中項目を6項とした。また、それぞれの項を理解しやすくするための図表も多く取り入れた。最終的に100ページ弱の手引書をした編集した。

D. 考察

昨今のCOVID-19関連による様々な問題等で研究の進行が若干遅れも生じたが、最終年度である本年度に手引書の発刊まで到達し、予定を完遂することができた。

E. 結論

介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するための手引書を作成することができた。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表

Shinohara H, Mikami Y, Kuroda R, Asaeda M, Kawasaki T, Kouda K, Nishimura Y, Ohkawa H, Uenishi H, Shimokawa T, Mikami Y, Tajima F, Kubo T. Rehabilitation in the long-term care insurance domain: a scoping review. Health Econ Rev. 2022 Dec 1;12(1):59.

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

厚生労働科学研究費補助金（長寿科学政策研究事業）
分担研究報告書

介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究

研究分担者 村上 英恵 岩手医科大学リハビリテーション医学講座 助教

研究要旨 介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するためには高齢者の診察にあたるリハビリテーション科医、各疾患領域の医師や医師以外の医療職種が適切にリハビリテーションを提供できるようにする必要がある。本研究で介護保険制度のもとで適切なリハビリテーションが提供できるように手引書を作成する。

研究分担者氏名・所属研究機関名及び所属研究機関における職名

(分担研究報告書の場合は、省略)

A. 研究目的

本研究の主目的は介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するための手引書を作成することである。

B. 研究方法

2021年度までに遂行し手引書作成のための大項目3章、中項目合計18項、小項目合計50項を抽出した。これらの項目に沿って手引書の作成をおこなうこととした。この中で中項目2項の執筆を担当することとなった。
(倫理面への配慮)
岩手医科大学の倫理審査の承認を得た。

C. 研究結果

第1章、高齢者の身体機能を高める方法についての、関節可動域の拡大と摂食嚥下機能訓練の執筆を担当した。

D. 考察

昨今のCOVID-19関連による様々な問題等で研究の進行が若干遅れも生じたが、担当部分の執筆を遂行することができた。

E. 結論

介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するための手引書を作成することができた。

F. 健康危険情報

(分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入)

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

厚生労働科学研究費補助金（長寿科学政策研究事業）
分担研究報告書

介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究

研究分担者 高橋 史朗 岩手医科大学教養教育センター 教授

研究要旨 介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するためには高齢者の診察にあたるリハビリテーション科医、各疾患領域の医師や医師以外の医療職種が適切にリハビリテーションを提供できるようにする必要がある。本研究で介護保険制度のもとで適切なリハビリテーションが提供できるように手引書を作成する。

研究分担者氏名・所属研究機関名及び所属研究機関における職名

(分担研究報告書の場合は、省略)

A. 研究目的

本研究の主目的は介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するための手引書を作成することである。

B. 研究方法

2021年度までに遂行し手引書作成のための大項目3章、中項目合計18項、小項目合計50項を抽出した。これらの項目に沿って手引書の作成をおこなうこととした。手引書作成の編集をおこなうこととした。
(倫理面への配慮)
岩手医科大学の倫理審査の承認を得た。

C. 研究結果

第1章は高齢者の身体機能を高める方法についてとし中項目を10項、小項目を36項目とし、第2章を高齢者の意欲を高める方法（心理的サポート）とし中項目を2項、小項目を6項とした。第3章は介護領域の高齢者における疾患別にみたリハビリテーションの留意事項についてとし、中項目を6項とした。また、それぞれの項を理解しやすくするための図表も多く取り入れた。最終的に100ページ弱の手引書をした編集した。

D. 考察

昨今のCOVID-19関連による様々な問題等で研究の進行が若干遅れも生じたが、最終年度である本年度に手引書の発刊まで到達し、予定を完遂することができた。

E. 結論

介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するための手引書を作成することができた。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

厚生労働科学研究費補助金（長寿科学政策研究事業）
分担研究報告書

介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究

研究分担者 坪井 宏幸 | 岩手医科大学医学部 研究員

研究要旨 介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するためには高齢者の診察にあたるリハビリテーション科医、各疾患領域の医師や医師以外の医療職種が適切にリハビリテーションを提供できるようにする必要がある。本研究で介護保険制度のもとで適切なリハビリテーションが提供できるように手引書を作成する。

研究分担者氏名・所属研究機関名及び所属研究機関における職名

(分担研究報告書の場合は、省略)

A. 研究目的

本研究の主目的は介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するための手引書を作成することである。

B. 研究方法

2021年度までに遂行し手引書作成のための大項目3章、中項目合計18項、小項目合計50項を抽出した。これらの項目に沿って手引書の作成をおこなうこととした。この中で中項目4項の執筆を担当することとなった。
(倫理面への配慮)
岩手医科大学の倫理審査の承認を得た。

C. 研究結果

第1章、高齢者の身体機能を高める方法についての、筋力増強、持久力（心肺機能）強化、歩行の執筆を担当し、第2章、高齢者の意欲を高める方法（心理的サポート）についての、入浴の執筆を担当した。

D. 考察

昨今のCOVID-19関連による様々な問題等で研究の進行が若干遅れも生じたが、担当部分の執筆を遂行することができた。

E. 結論

介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するための手引書を作成することができた。

F. 健康危険情報

(分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入)

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

厚生労働科学研究費補助金（長寿科学政策研究事業）
分担研究報告書

介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究

研究分担者 中嶋 英一 | 岩手医科大学医学部 研究員

研究要旨 介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するためには高齢者の診察にあたるリハビリテーション科医、各疾患領域の医師や医師以外の医療職種が適切にリハビリテーションを提供できるようにする必要がある。本研究で介護保険制度のもとで適切なリハビリテーションが提供できるように手引書を作成する。

研究分担者氏名・所属研究機関名及び所属研究機関における職名

(分担研究報告書の場合は、省略)

A. 研究目的

本研究の主目的は介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するための手引書を作成することである。

B. 研究方法

2021年度までに遂行し手引書作成のための大項目3章、中項目合計18項、小項目合計50項を抽出した。これらの項目に沿い手引書の作成をおこなうこととした。この中で中項目2項の執筆を担当することとなった。
(倫理面への配慮)
岩手医科大学の倫理審査の承認を得た。

C. 研究結果

第1章、高齢者の身体機能を高める方法についての、離床の執筆を担当し、第2章、高齢者の意欲を高める方法（心理的サポート）についての、レクリエーションの執筆を担当した。

D. 考察

昨今のCOVID-19関連による様々な問題等で研究の進行が若干遅れも生じたが、担当部分の執筆を遂行することができた。

E. 結論

介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するための手引書を作成することができた。

F. 健康危険情報

(分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入)

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

厚生労働科学研究費補助金（長寿科学政策研究事業）
分担研究報告書

介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究

研究分担者 酒井 孝文 宝塚医療大学保健医療学部・教授

研究要旨 介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するためには高齢者の診察にあたるリハビリテーション科医、各疾患領域の医師や医師以外の医療職種が適切にリハビリテーションを提供できるようにする必要がある。本研究で介護保険制度のもとで適切なリハビリテーションが提供できるように手引書を作成する。

研究分担者氏名・所属研究機関名及び所属研究機関における職名

(分担研究報告書の場合は、省略)

A. 研究目的

本研究の主目的は介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するための手引書を作成することである。

B. 研究方法

2021年度までに遂行し手引書作成のための大項目3章、中項目合計18項、小項目合計50項を抽出した。これらの項目に沿って手引書の作成をおこなうこととした。この中で中項目2項の執筆を担当することとなった。
(倫理面への配慮)
岩手医科大学の倫理審査の承認を得た。

C. 研究結果

第1章、高齢者の身体機能を高める方法についての、関節可動域の拡大、ADL（日常生活動作）訓練の執筆を担当した。

D. 考察

昨今のCOVID-19関連による様々な問題等で研究の進行が若干遅れも生じたが、担当部分の執筆を遂行することができた。

E. 結論

介護領域におけるリハビリテーションを効果的に実施するための手引書を作成することができた。

F. 健康危険情報

(分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入)

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

作成上の留意事項

1. 「A. 研究目的」について
・厚生労働行政の課題との関連性を含めて記入すること。
2. 「B. 研究方法」について
(1) 実施経過が分かるように具体的に記入すること。

別紙4

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍 該当なし

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ

雑誌 該当なし

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年

令和5年5月23日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 岩手医科大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 祖父江 憲治

次の職員の令和4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 長寿科学政策研究事業
2. 研究課題名 介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 医学部・教授
(氏名・フリガナ) 西村 行秀・ニシムラ ユキヒデ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	岩手医科大学	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容：)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和5年5月23日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長)— 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 岩手医科大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 祖父江 憲治

次の職員の令和4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 長寿科学政策研究事業

2. 研究課題名 介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 医学部・助教

(氏名・フリガナ) 西山 一成・ニシヤマ カズナリ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	岩手医科大学	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和5年3月31日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
—(国立保健医療科学院長) —

機関名 京都府立医科大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 竹中 洋

次の職員の令和4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 長寿科学政策研究事業
2. 研究課題名 介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 医学部・特任教授
(氏名・フリガナ) 久保 俊一 (クボ トシカズ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
—(国立保健医療科学院長) —

機関名 岩手医科大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 祖父江 憲治

次の職員の令和4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 長寿科学政策研究事業
2. 研究課題名 介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 医学部・助教
(氏名・フリガナ) 村上 英恵・ムラカミ ハナエ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	岩手医科大学	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和5年5月23日

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名 岩手医科大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 祖父江 憲治

次の職員の令和4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 長寿科学政策研究事業
- 研究課題名 介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究
- 研究者名 (所属部署・職名) 教養教育センター・教授
(氏名・フリガナ) 高橋 史朗・タカハシ フミアキ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	岩手医科大学	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和5年5月23日

厚生労働大臣
~~(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿~~
~~(国立保健医療科学院長)~~

機関名 岩手医科大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 祖父江 憲治

次の職員の令和4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 長寿科学政策研究事業

2. 研究課題名 介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 医学部・研究員

(氏名・フリガナ) 坪井 宏幸・ツボイ ヒロユキ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	岩手医科大学	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和5年5月23日

厚生労働大臣
~~(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿~~
~~(国立保健医療科学院長)~~

機関名 岩手医科大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 祖父江 憲治

次の職員の令和4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 長寿科学政策研究事業
- 研究課題名 介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究
- 研究者名 (所属部署・職名) 医学部・研究員
(氏名・フリガナ) 中嶋 英一・ナカシマ エイイチ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	岩手医科大学	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 5 年 4 月 4 日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
—(国立保健医療科学院長) 殿

機関名 宝塚医療大学
所属研究機関長 職名 学長
氏名 岸野 雅方

次の職員の令和4年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 長寿科学政策研究事業
2. 研究課題名 介護領域におけるエビデンスに基づく高齢者のリハビリテーションの適応等についての研究 (20GA0201)
3. 研究者名 (所属部署・職名) 保健医療学部理学療法学科・教授
(氏名・フリガナ) 酒井 孝文 (サカイ タカフミ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (無の場合はその理由: 宝塚医療大学保健医療学部研究倫理規定に含むため)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: 宝塚医療大学保健医療学部研究倫理委員会)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (無の場合はその理由: 宝塚医療大学保健医療学部研究倫理規定に含むため)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。